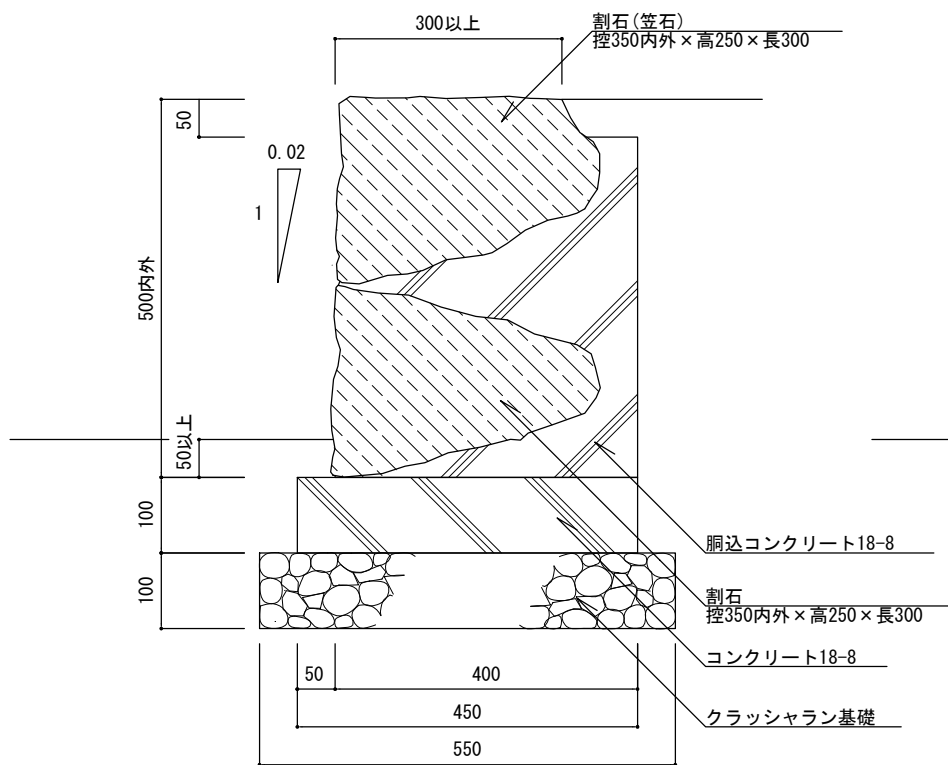


1 基 盤



断面図

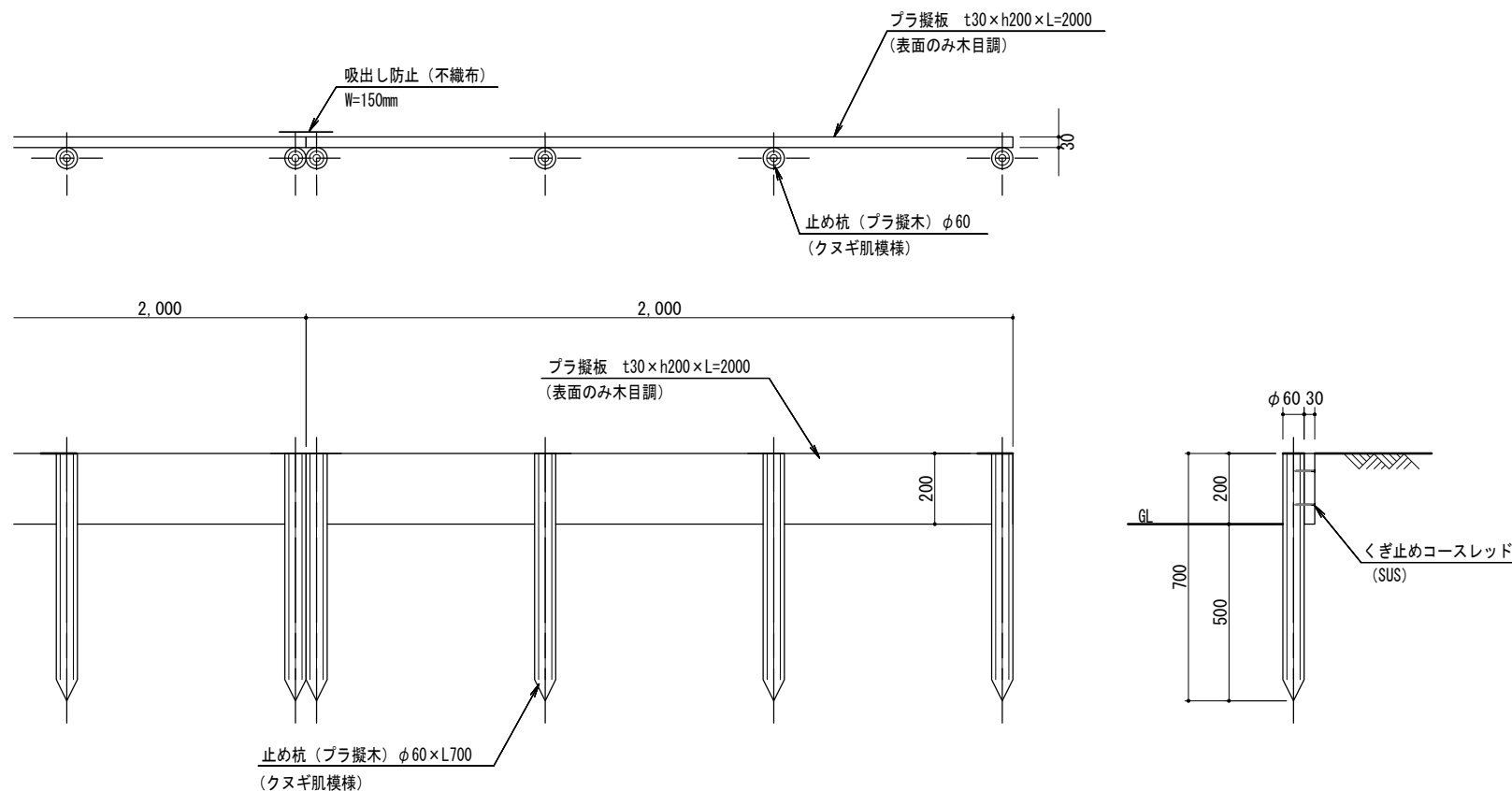
正面図

特記

- ・クラッシュラン基礎は、再生材（RC-40）とする。
- ・コンクリートは、高炉Bとする。
- ・割石（笠石）、割石は、安山岩とする。
- ・伸縮目地は、杉板（1等）厚9mmとし、@20mを標準とする。
- ・端部、角石は、役石を使用する。
- ・目地は、突合せ・から目地とする。

割石積

縮尺	1/10	WI
日付	H30.4	



特記

- ・ 擬木は芯材なしの杭。(構造計算の必要の無い場所に限定)
- ・ 止め杭は土中式とする。
- ・ 擬木(樹脂部)は再生プラスチックとし、木粉混合率は0~15%(重量比)とする。
- ・ 擬板は景観を配慮した木目調とし、擬木はクヌギ肌模様とする。
- ・ 擬木色調は色見本を提出の上監督員と協議すること。
- ・ 確定寸法、細部形状、仕様等を明記した承認図を提出すること。

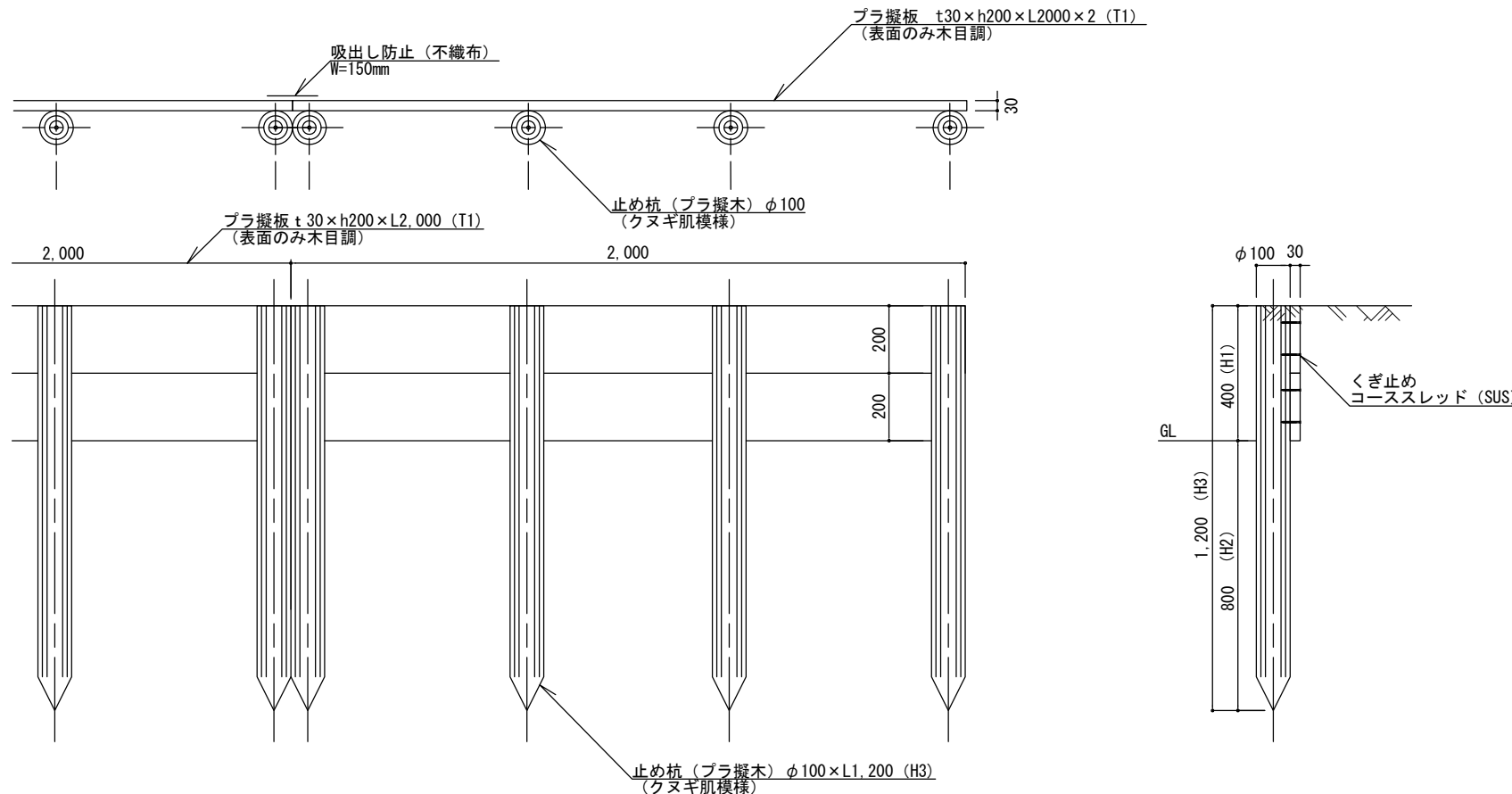
プラ擬木土留め

縮尺	1/20	GD-20
日付	H30.4	

寸法表

(単位 mm)

記号	地上高	地中杭長	全体長	横板 (T1)
	H1	H2	H3	
GD-40	400	800	1,200	t 30 × h 200 × L2,000 × 2
GD-60	600	900	1,500	t 30 × h 200 × L2,000 × 3



特記

- ・ 擬木は芯材なしの杭。(構造計算の必要の無い場所に限定)
- ・ 止め杭は土中式とする。
- ・ 擬木(樹脂部)は再生プラスチックとし、木粉混合率は0~15%(重量比)とする。
- ・ 擬板は景観を配慮した木目調とし、擬木はクヌギ肌模様とする。
- ・ 擬木色調は色見本を提出の上監督員と協議すること。
- ・ 確定寸法、細部形状、仕様等を明記した承認図を提出すること。

プラ擬木土留め

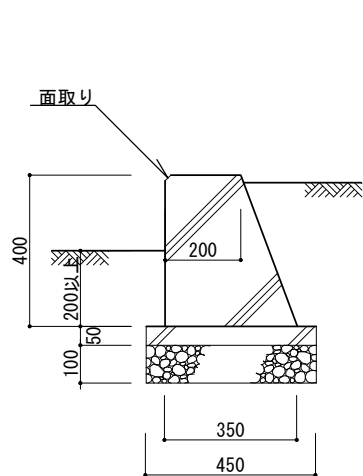
縮尺	1/20	GD-40 GD-60
日付	H30.4	

S1 基 盤：参考図

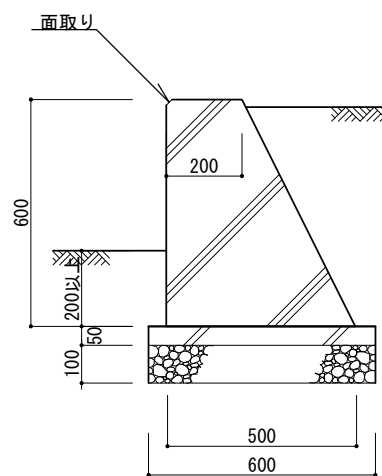
基本条件

項目	摘要	数値	備 考
背面土 (粘性土)	せん断抵抗角	20°	※1
	単位重量	16kN/m ³	※1
支持地盤 (粘性土)	地盤反力度	50kN/m ²	※1
	粘着力	20kN/m ²	※1
	摩擦係数	0.3	※1
載荷重	歩道	5kN/m ²	※2

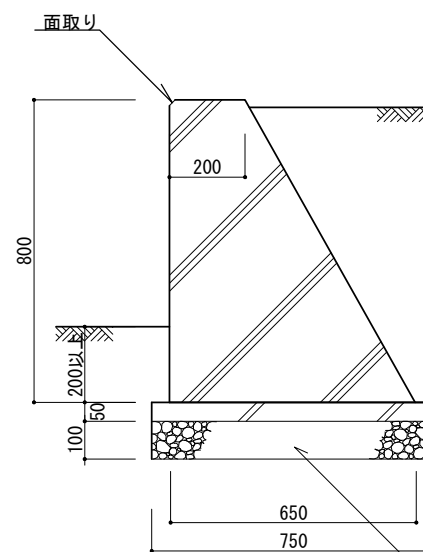
※1：宅地造成の手引き（横浜市建築局）
 ※2：立体横断施設技術基準・同解説（社）日本道路協会



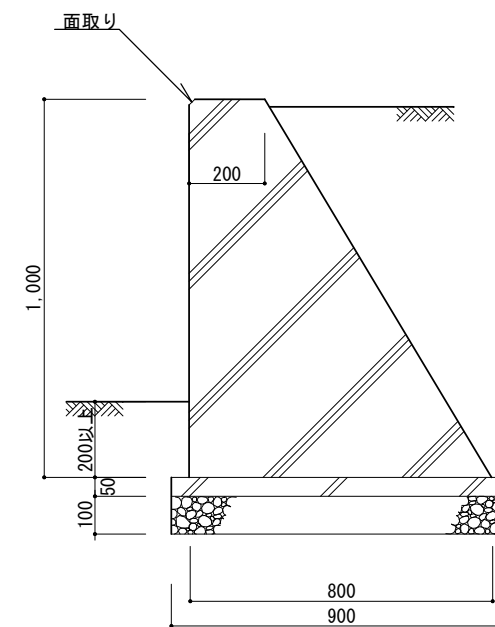
JY-20 断面図



JY-40 断面図



JY-60 断面図



JY-80 断面図

特記

- ・支持地盤は、関東ローム層50kN/m²を想定。
- ・土質が関東ローム層の地山であることが明らかでない場合は、試験を行うこと。
- ・擁壁の天端に柵を設置する場合は、別途計算すること。
- ・伸縮目地を@10mを標準として設ける。

重力式擁壁 [参考図]

縮尺	1/20	JY-20 JY-40
日付	H30.4	JY-60 JY-80